

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書

平成 29 年 10 月～12 月期

平成 30 年 2 月 28 日

佐 土 原 町 商 工 会

佐土原町商工会中小企業景況調査報告書

平成 29 年 10 月～12 月期

1. 調査要領

【調査対象】

(1) 対象地 佐土原町

(2) 回答企業数 69 企業

【調査対象期間】 平成 29 年 10 月～12 月を対象

【調査月】 平成 29 年 12 月

【調査方法】 佐土原町商工会会員による経営状況に関するアンケート調査

【調査データ産業別構成】

(1) 産業別構成







業種	回答企業数	構成比
サービス業	21	30.4%
卸・小売業	20	29.0%
製造業	17	24.6%
建設業	11	15.9%
合計	69	100.0%

(2) 従業員数別構成

従業員数	回答企業数	構成比
0 人	10	14.5%
1～5 人	40	58.0%
6～10 人	15	21.7%
11～20 人	4	5.8%
21 人以上	0	0.0%
合計	69	100.0%

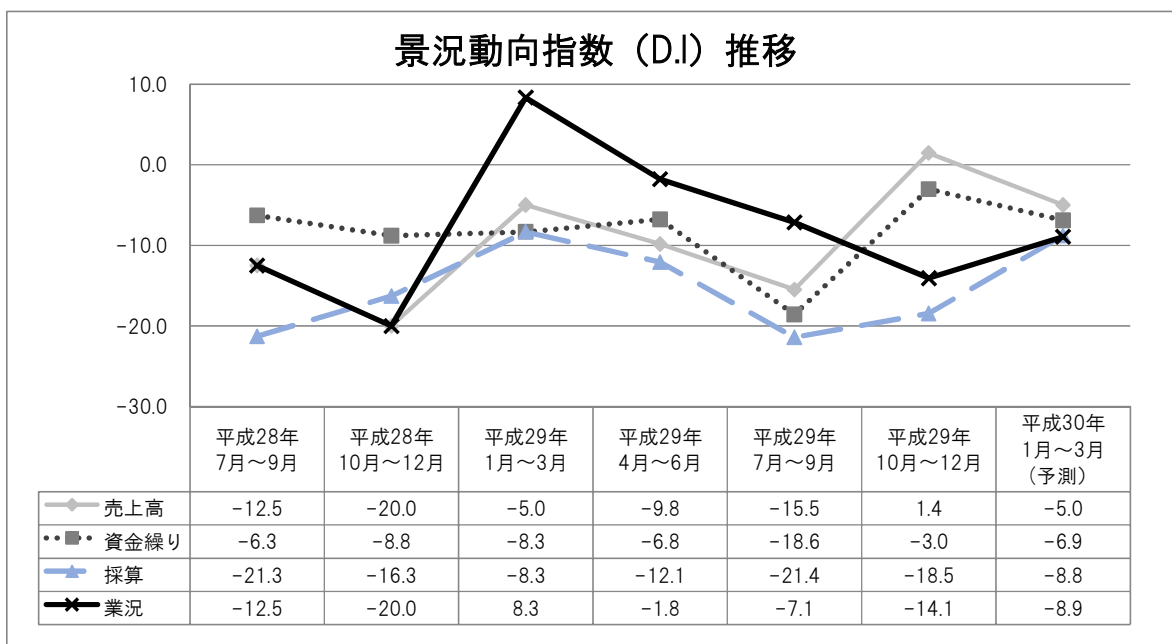
【その他】DI 値と天気マーク

本報告書中の DI 値とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で各調査項目についての増加（好転、上昇）企業割合から、減少（悪化、低下）企業割合を差し引いた値を示すものである。

					
30 ≤ DI (特に好調)	15 ≤ DI < 30 (好調)	0 ≤ DI < 15 (やや好調)	Δ15 ≤ DI < 0 (やや不振)	Δ30 ≤ DI < Δ15 (不振)	DI < Δ30 (きわめて不振)

2. 全業種の景況

①景況感の推移



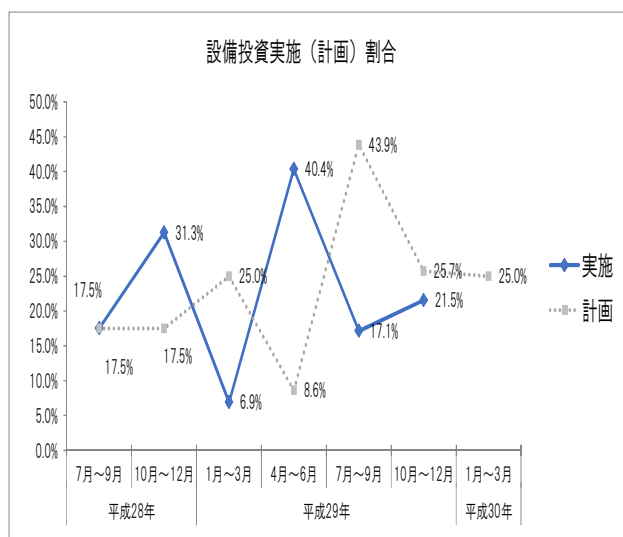
②景況の概況

	平成29年 10月～12月	平成30年 1月～3月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

●今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で 1.4、資金繰りで▲3.0、採算で▲18.5、業況で▲14.1 となり、売上高は大幅に好転し、資金繰りは厳しさが大きく和らぎ、採算はやや改善し、業況は大幅に改善した。

●来期の予測は、売上高で▲5.0 (6.4pt 減)、資金繰りで▲6.9 (3.9pt 減)、採算で▲8.8 (9.7pt 増) 業況で▲8.9 (5.1pt 増) と、採算は大幅に改善し、業況もやや改善、資金繰りはやや窮屈感が強まり、売上高は大幅に増加から減少に転じる見通し。

③設備投資概況



●今期の設備投資実施割合は 21.5%で、計画をやや下回った。

投資実施内容は下記の通り (複数回答)。

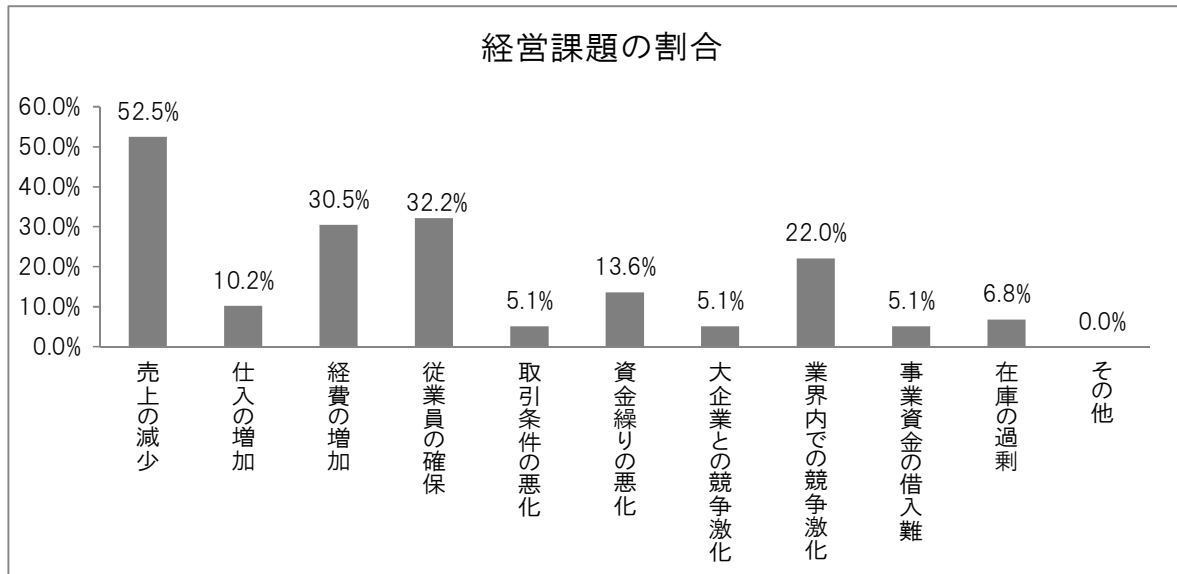
- ・土地 (1件) ・建物 (2件)
- ・建設機械(4件) ・車両・運搬具(5件)
- ・OA 機器 (6件) ・福利厚生施設(1件)
- ・その他 (3件)

●来期の設備投資計画割合は 25.0%で、やや増加する見込み。

投資計画内容は下記の通り (複数回答)。

- ・土地 (2件) ・建物 (3件)
- ・建設機械(1件) ・車両・運搬具(4件)
- ・付帯施設(1件) ・OA 機器 (1件)
- ・その他 (3件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	31	6	18	19	3	8	3	13	3	4	0
割合 (%)	52.5%	10.2%	30.5%	32.2%	5.1%	13.6%	5.1%	22.0%	5.1%	6.8%	0.0%

●経営課題の上位3位は

- <1位> 「売上の減少」 52.5%
- <2位> 「従業員の確保」 32.2%
- <3位> 「経費の増加」 30.5%

●「売上の減少」が最も多く、およそ半数を占めた。

●今期も前期同様の順位となっているが、3位の「経費の増加」の割合が前回と比べて増加した。

⑤全業種概況

平成29年10～12月期の景況感は、業況は大幅に悪化、売上高は好転し、採算は改善した。資金繰りは厳しさが大幅に和らいだ。

業況については、製造業は大幅に改善したものの、建設業はやや悪化し、卸・小売業、サービス業は大幅に悪化したため、全体も大幅に悪化したものとみられる。

売上高については、製造業では前期並の減少幅となったが、建設業で増加幅が極端に拡大し、卸・小売業で非常に大きく改善、サービス業でも大幅に改善したため、全体では好転したものとみられる。

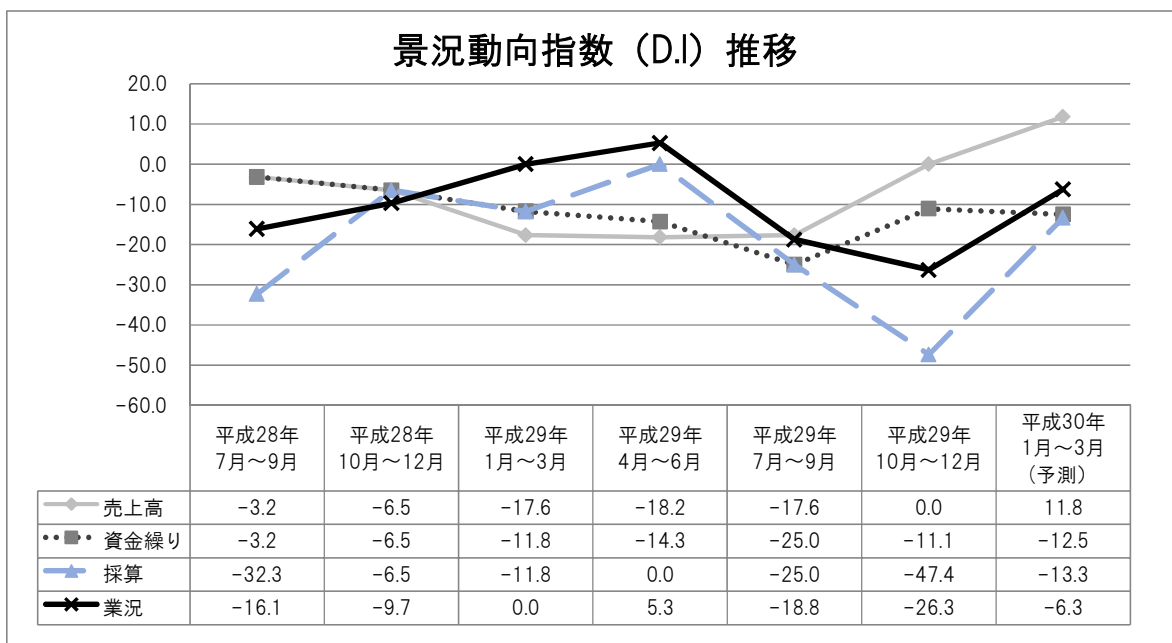
採算については、製造業、サービス業で悪化した但、建設業では極端に増加が強まり、卸・小売業では大幅に改善したため、全体はやや改善したものとみられる。

資金繰りについては、全ての業種で改善したため、全体でも大幅に厳しさが和らいだ。

宮崎県全体の今期の傾向は、採算はやや改善したが、資金繰りはやや窮屈感が強まり、売上高は大幅に悪化、業況もやや悪化した。来期の予測は、資金繰りはやや窮屈感が強まるが、採算は今期並の減少で、売上高は大幅な改善が見込まれ、業況はやや改善する見通しである。

3. サービス業の景況

①景況感の推移

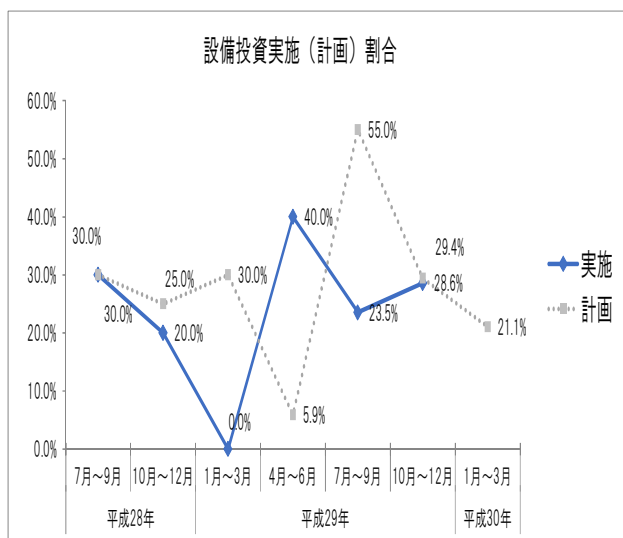


②景況の概況

	平成29年 10月～12月	平成30年 1月～3月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

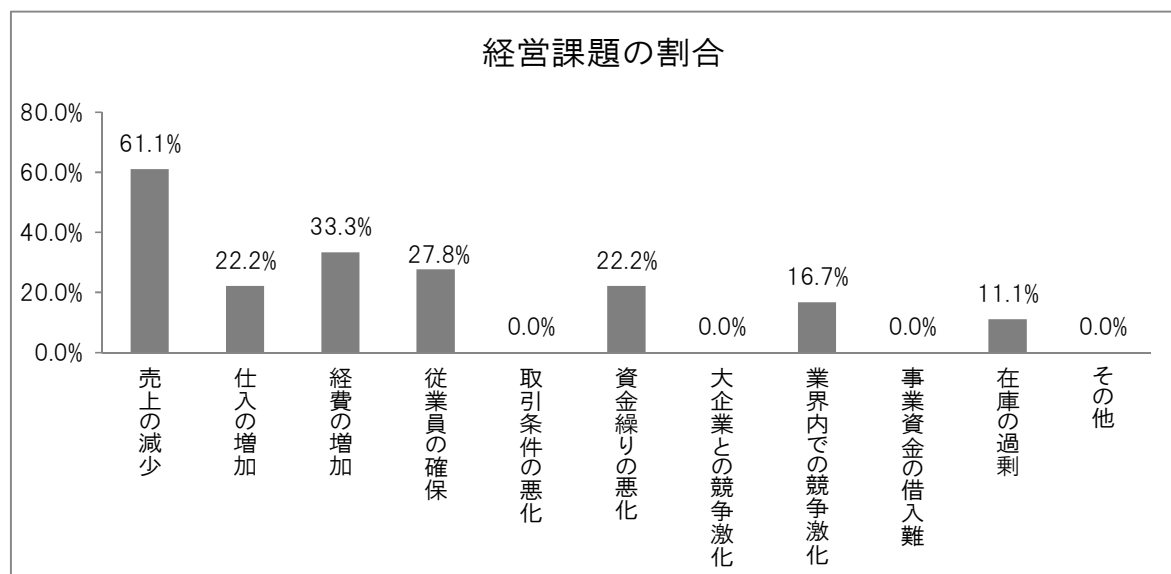
- 今期の景気動向指数 (DI 値) は、売上高で 0.0、資金繰りで▲11.1、採算で▲47.4、業況で▲26.3 となり、売上高は大幅に改善し、資金繰りは大幅に厳しさが和らいだ。一方、業況は大幅に悪化幅が拡大し、採算は大幅に悪化した。
- 来期の予測は、売上高で 11.8 (11.8pt 増)、資金繰りで▲12.5 (1.4pt 減)、採算で▲13.3 (34.1pt 増)、業況で▲6.3 (20.0pt 増) と、売上高は大幅に増加し、採算、業況は非常に大きく改善するが、資金繰りはやや窮屈感が強まる見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は 28.6%で、計画通りであった。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
・建物 (1 件) ・建設機械 (1 件)
・車両・運搬具(2 件) ・福利厚生施設(1 件)
・その他 (1 件)
- 来期の設備投資計画割合は 21.1%で、大きく減少する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
・建物(1 件) ・OA 機器(1 件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	11	4	6	5	0	4	0	3	0	2	0
割合 (%)	61.1%	22.2%	33.3%	27.8%	0.0%	22.2%	0.0%	16.7%	0.0%	11.1%	0.0%

●経営課題の上位3位は

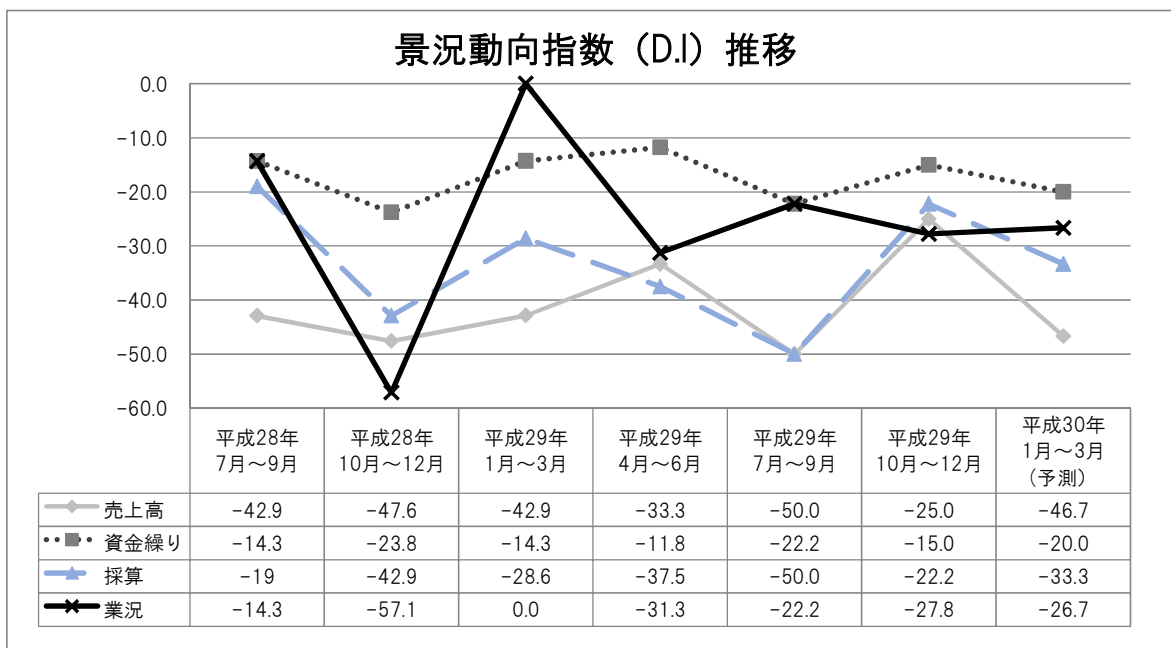
- <1位> 「売上の減少」 61.1%
- <2位> 「経費の増加」 33.3%
- <3位> 「従業員の確保」 27.8%

●「売上の減少」が前期より増加して6割を超えた。

●前期2位の「従業員の確保」は今期3位となり、代わって前期3位の「経費の増加」が今期2位となった。

4. 卸・小売業の景況

①景況感の推移



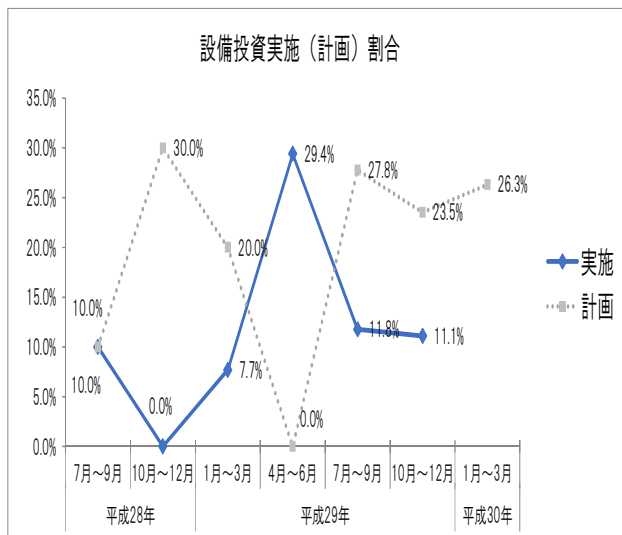
②景況の概況

	平成29年 10月～12月	平成30年 1月～3月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

●今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲25.0、資金繰りで▲15.0、採算で▲22.2、業況で▲27.8 となり、売上高、採算は非常に大きく改善し、資金繰りも大幅に厳しさが和らいだが、業況は悪化幅が拡大した。

●来期の予測は、売上高で▲46.7 (21.7pt 減)、資金繰りで▲20.0 (5.0pt 減)、採算で▲33.3 (11.1pt 減)、業況で▲26.7 (1.1pt 増) と、業況は今期並の悪化幅で推移し、資金繰りはやや窮屈感が強まり、採算は大幅に悪化し、売上高も非常に大きく減少幅が拡大する見通し。

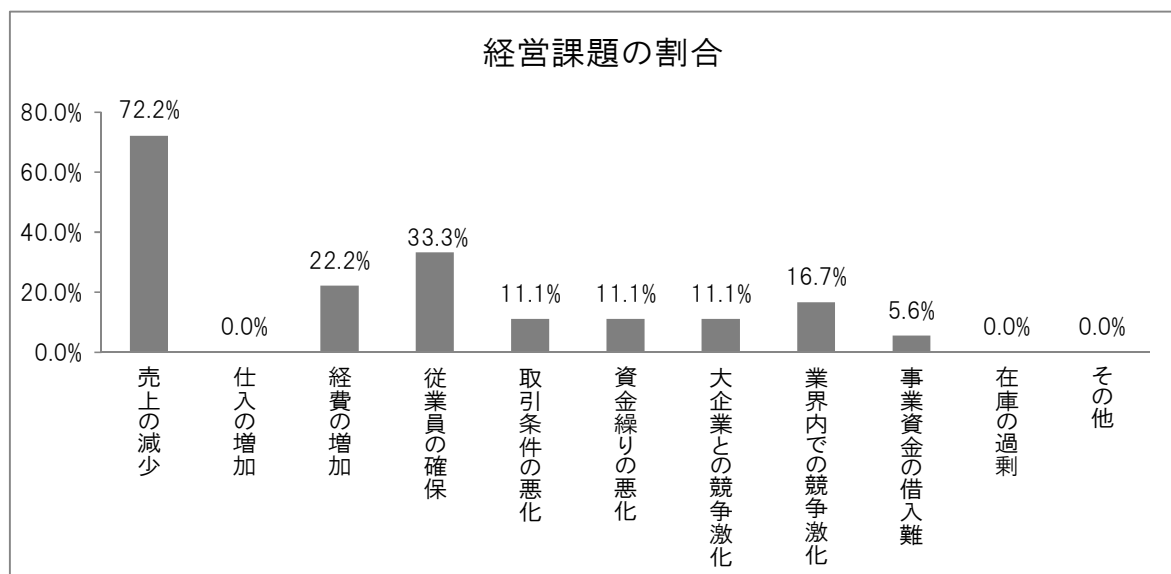
③設備投資概況



●今期の設備投資実施割合は 11.1%で、計画を大幅に下回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
・車両・運搬具(1 件) ・OA 機器(2 件)
・その他 (1 件)

●来期の設備投資計画割合は 26.3%で、大幅に増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
・車両・運搬具(2 件) ・その他(1 件)

④経営課題



	売上減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	13	0	4	6	2	2	2	3	1	0	0
割合 (%)	72.2%	0.0%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%

●経営課題の上位3位は

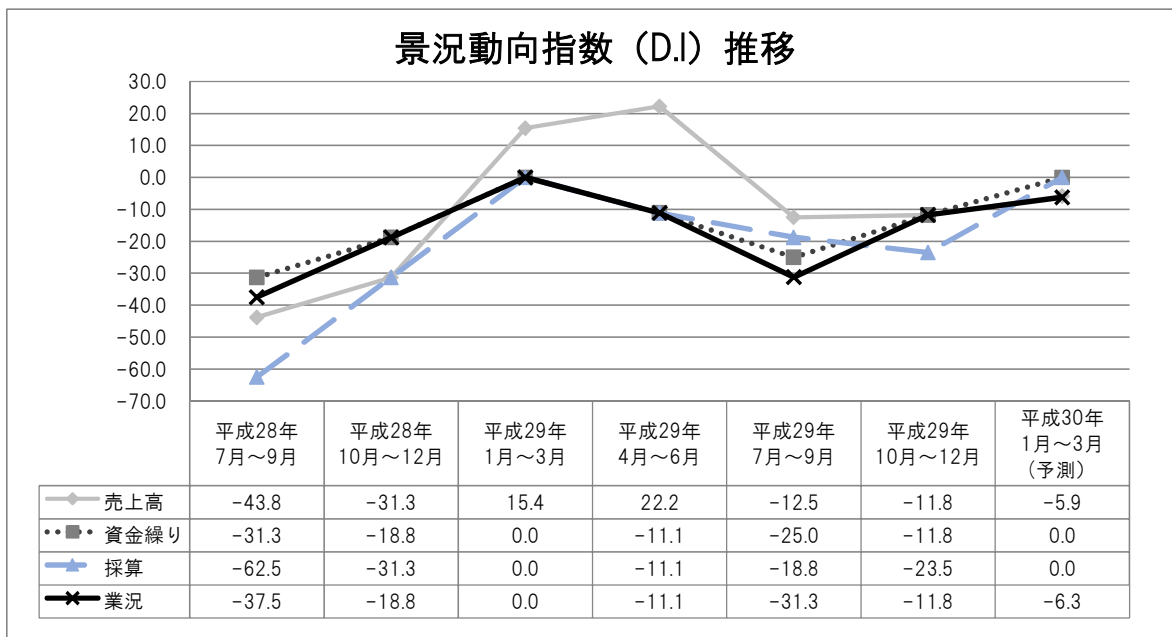
- <1位> 「売上減少」 72.2%
- <2位> 「従業員の確保」 33.3%
- <3位> 「経費の増加」 22.2%

●「売上減少」が前回と同様に7割を超え、最多となった。

●前期は取引先との関係に関わる回答が多く見受けられたが、今回は人手や経費が課題となっている。

5. 製造業の景況

①景況感の推移



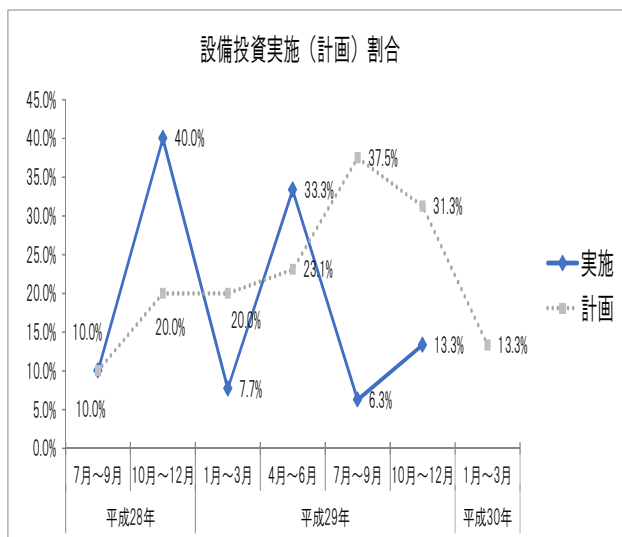
②景況の概況

	平成29年 10月～12月	平成30年 1月～3月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

●今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲11.8、資金繰りで▲11.8、採算で▲23.5、業況で▲11.8 となり、業況は大幅に改善し、資金繰りも大幅に厳しさが和らいだが、売上高は前期並の減少幅で、採算はやや悪化した。

●来期の予測は、売上高で▲5.9 (5.9pt 増)、資金繰りで 0.0 (11.8pt 増)、採算で 0.0 (23.5pt 増)、業況で▲6.3 (5.5pt 増) となり、採算は非常に大きく改善し、売上高、資金繰り、業況は大幅に改善する見通し。

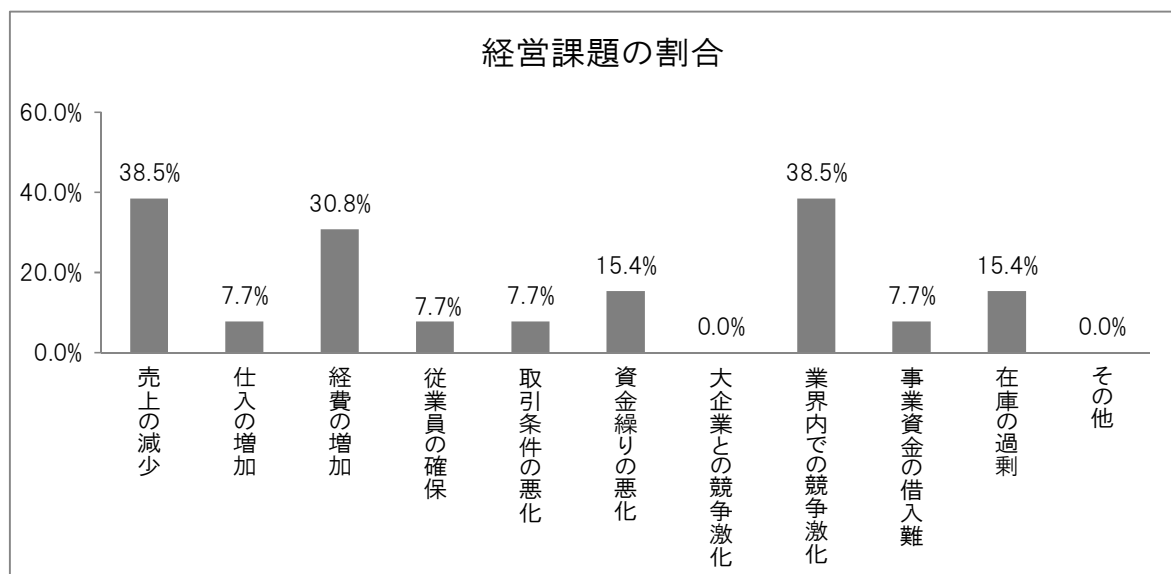
③設備投資概況



●今期の設備投資実施割合は 13.3% で、計画を大幅に下回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
・建設機械(1件) ・車両・運搬具(1件)
・OA 機器 (1件)

●来期の設備投資計画割合は 13.3% で、今期並となる見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
・その他(2件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	5	1	4	1	1	2	0	5	1	2	0
割合 (%)	38.5%	7.7%	30.8%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	38.5%	7.7%	15.4%	0.0%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「売上の減少」・「業界内での競争激化」 38.5%

<2位> 「経費の増加」 30.8%

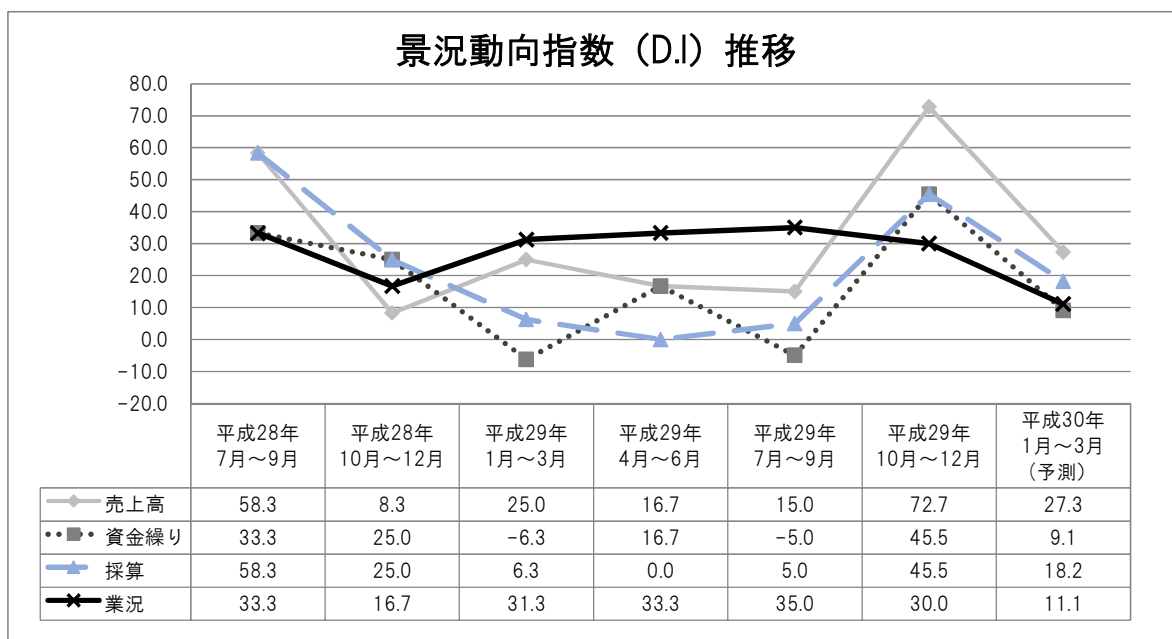
<3位> 「資金繰りの悪化」・「在庫の過剰」 15.4%

●「売上の減少」は前期同様の順位であるが、加えて前期3位の「業界内での競争激化」が同率1位となった。

●前期同率1位であった「経費の増加」は今期2位となったが、割合は3割を占め、比較的高い値となった。

6. 建設業の景況

①景況感の推移



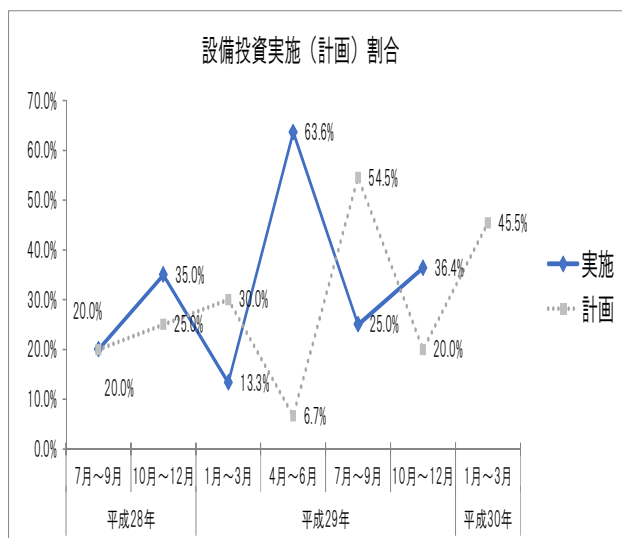
②景況の概況

	平成29年 10月～12月	平成30年 1月～3月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

●今期の景気動向指数 (DI 値) は、売上高で 72.7、資金繰りで 45.5、採算で 45.5、業況で 30.0 となり、売上高、採算は非常に大きく好調感を強め、資金繰りは極端に容易に転じ、業況はやや悪化した。

●来期の予測は、売上高で 27.3 (45.4pt 減)、資金繰りで 9.1 (36.4pt 減)、採算で 18.2 (27.3pt 減)、業況で 11.1 (18.9pt 減) と、資金繰りは極端に容易さが縮小、売上高、採算は非常に大きく増加幅が縮小し、業況は大幅に悪化する見通し。

③設備投資概況



●今期の設備投資実施割合は 36.4% で、計画を大きく上回った。

投資実施内容は下記の通り (複数回答)。

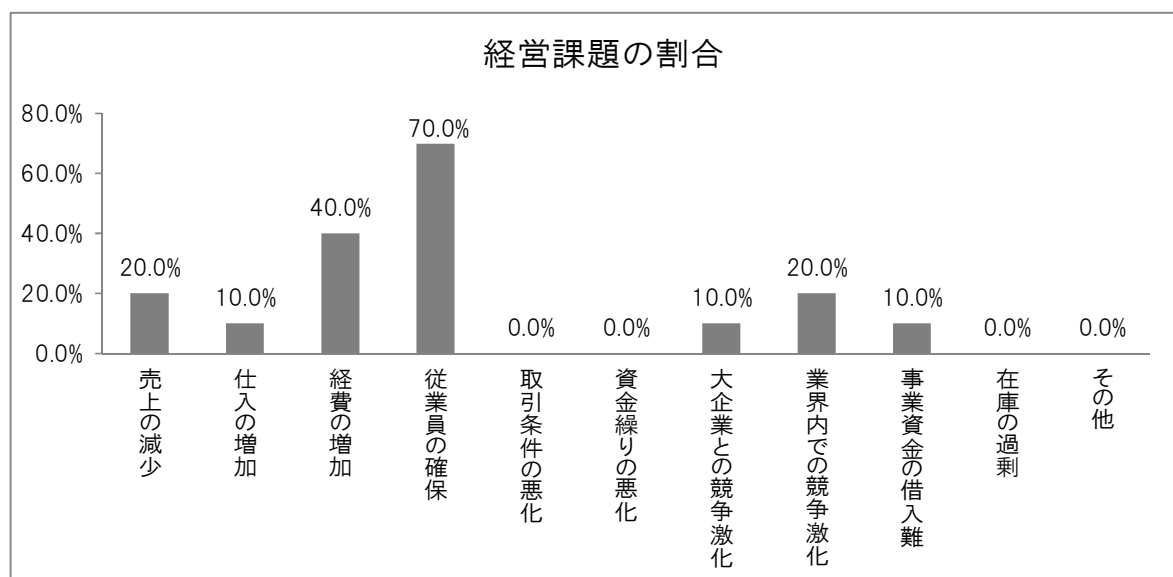
- ・土地 (1件) ・建物 (1件)
- ・建設機械(2件) ・車両・運搬具(1件)
- ・OA 機器 (3件) ・その他 (1件)

●来期の設備投資計画割合は 45.5% で、大きく増加する見込み。

投資計画内容は下記の通り (複数回答)。

- ・土地 (2件) ・建物 (2件)
- ・建設機械(1件) ・車両・運搬具(2件)
- ・付帯施設(1件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	2	1	4	7	0	0	1	2	1	0	0
割合 (%)	20.0%	10.0%	40.0%	70.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「従業員の確保」 70.0%

<2位> 「経費の増加」 40.0%

<3位> 「売上の減少」・「業界内での競争激化」 20.0%

●前期同様「従業員の確保」が1位となったが、その割合は前期の5割を超え7割を占めた。

●前期同率3位の「経費の増加」は今期2位、前期2位であった「売上の減少」は今期同率3位と順位に変動はあったものの、変わらず収支に関する課題が上位に挙がっている。

7. 景況概要のまとめ（業種別）

① サービス業

前期と比較した今期のサービス業において、売上高は大幅に改善し、資金繰りは大幅に厳しさが和らいだ。採算は非常に大きく低迷し、業況も大幅に悪化幅が拡大した。来期は、売上高は大幅に改善しプラスへ転じ、採算、業況も大幅に改善するが、資金繰りはやや悪化する見通しとなっている。

宮崎県内のサービス業の今期の動向は、売上高、業況はやや悪化した。採算はやや改善し、資金繰りは厳しさがやや和らいだ。来期の見通しは、採算、売上高、業況はやや悪化し、資金繰りは今期並の窮屈感となる見通しである。

全国的には、今期の売上高、資金繰りは前期並で、採算、業況はやや悪化した。来期の業況は大幅に改善する見通しである。

② 卸・小売業

前期と比較した今期の卸・小売業において、売上高および採算は非常に大きく改善し、資金繰りは大幅に厳しさが和らいだが、業況は大幅に悪化した。来期は、売上高は極端に低迷し、採算は大幅に悪化し、資金繰りはやや悪化、業況は今期並となる見通しとなっている。

宮崎県内の小売業の今期の動向は、売上高、採算、業況は大幅に悪化し、資金繰りは前期並の窮屈感となった。来期の見通しは、売上高、採算、業況は大幅に改善し、資金繰りはやや厳しさが和らぐ見通しである。

全国的（※小売業を参照）には、今期の売上高、資金繰り、業況は前期並みのマイナス幅で、採算はやや悪化した。来期の業況は大幅に改善する見通しである。

③ 製造業

前期と比較した今期の製造業において、売上高は前期並の減少幅で、採算はやや悪化した。一方、資金繰りは厳しさが大幅に和らぎ、業況も大幅に改善した。来期は、売上高、採算、業況は大幅に改善し、資金繰りも窮屈感を脱する見通しとなっている。

宮崎県内の製造業の今期の動向は、売上高、資金繰りはやや悪化する一方、業況はやや改善し、採算は大幅に改善した。来期の見通しは、採算は増加から減少へと転じ、資金繰りは大幅に窮屈感が強まり、業況も大幅に悪化する一方で、売上高は大幅に改善する見通しとなっている。

全国的には、今期の採算、業況はやや改善し、資金繰りは厳しさがやや和らぎ、売上高は大幅に改善した。来期の業況は大幅に改善すると見込まれている。

④ 建設業

前期と比較した今期の建設業において、売上高、採算は非常に大きく好調感を強め、資金繰りは大幅に改善し容易になったが、業況はやや悪化した。来期は、売上高、採算は増加幅が大幅に縮小、資金繰りも容易さが極端に縮小し、業況は大幅に悪化する見通しとなっている。

宮崎県内の建設業の今期の動向は、売上高は大幅に増加から減少に転じたが、採算は大幅に改善し、資金繰りは容易さがやや縮小した。業況は好調感が大きく弱まった。来期の見通しは、採算、資金繰りは今期並みの推移で、売上高は好転し、業況はやや改善する見通しとなっている。

全国的には今期の売上高、採算、業況はやや改善し、資金繰りは前期並の厳しさで推移した。来期の業況は今期並の悪化幅となる見通しとなっている。

【参考データ】 宮崎県商工会連合会（平成 29 年 10 月～12 月期）

経済産業省 中小企業景況調査（平成 29 年 10 月～12 月期）

8. 参考：景況に関するアンケート調査票

平成29年度経営発達支援事業

経済動向調査(第3四半期)

景況に関するアンケート 調査票

佐土原町商工会

佐土原町商工会では小規模事業者の発展を目的とした経営発達支援事業に取り組んでいます。

その一環としてのアンケート調査です。ご協力をお願いします。

事業所名 _____ 業種 _____ 従業員数 _____ 名

1 経営状況について

問1. 今期(10月~12月)の経営状況は、前年同期と比較してどうですか?

また、来期(1月~3月)の見通しについてあてはまるものに○を1つつけてください。

	今期(今年)の経営状況			来期(来年)の見通し		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少
① 売上高						
② 資金繰り						
③ 採算(経常利益)						
④ 業況(※)						

(※) 事業所にとっての景気の状態を記載してください。

2 設備投資について

問2. 設備投資の実績及び予定について、あてはまるものに○を1つつけてください。

- (1) 今期の設備投資 1. 実施した 2. 実施していない
 (2) 来期の設備投資 1. 計画あり 2. 計画していない
 (3) 実施した場合、計画ありの場合の投資内容(あてはまるものに○を1つつけてください。)

今期の設備投資				来期の設備投資			
土地	建物	建設機械	車両・運搬具	土地	建物	建設機械	車両・運搬具
付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他

3 経営課題について

問3. 現在の経営課題について、あてはまるものに○をつけてください。(複数回答可:3つ以内)

1. 売上の減少 2. 仕入の増加 3. 経費の増加 4. 従業員の確保 5. 取引条件の悪化
 6. 資金繰りの悪化 7. 大企業との競争の激化 8. 業界内での競争激化 9. 事業資金の借入難
 10. 在庫の過剰 11. その他()

問4. 商工会に相談したい経営課題、経営支援の希望がございましたら自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書
(平成 29 年 10 月～12 月期)

平成 30 年 2 月発行

佐土原町商工会

〒880-0211

宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20732-53

■TEL : 0985-73-2567

■FAX : 0985-73-4975